

第4期大分県食育推進計画 数値目標及び実績一覧

資料1

評価方法 100%以上:A(達成)、90%以上100%未満:B(概ね達成)、80%以上90%未満:C(達成不十分)、80%未満:D(著しく不十分)

施策体系	指標	単位	策定時 (R2年度)	R4実績	実績値 (R5年度)	達成率	評価	目標値 (R5年度)	目標値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	達成状況の補足説明、 達成できない理由など	身につける力	目標設定の考え方	算出法	出典等(調査名)	市町村 データ	全国 データ	他計画にも掲載されている指標						
																		計画名	計画期間	目標値	単位	所属名	担当者名	内線
1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)																								
(1)乳幼児・児童・思春期における食育の推進	3歳児健診における一人平均むし歯本数	本	0.6 (R1年度)	0.4	未確定	135	A	0.54	0.52	0.5	目標値達成済。達成理由は、各市町村における歯科保健指導や乳幼児期フッ化物塗布事業等の取組の成果と考えている。	②たべる	年間0.02本減	各年	厚生労働省母子保健課所管国庫補助事業等に係る実施状況調べ	有	有	なし				健康増進室	藤井	2806
	朝食を毎日食べる児童の割合(小学校5年生)	%	90.0	89.6	89.6	98.0	B	91.4	91.9	92.4		②たべる	R3年度0.4ポイント増加、以後毎年0.5ポイント増加	各年	大分県学力定着状況調査	無	有	大分県長期総合計画 おおいた子ども・子育て応援プラン	H27~R6 R2~R6	95.0 % 91.9 %		体育保健課	秋吉	5635
	朝食を毎日食べる生徒の割合(中学校2年生)	%	88.3	87.8	87.4	96.9	B	90.2	90.7	91.2		②たべる	R3年度0.9ポイント増加、以後毎年0.5ポイント増加	各年	大分県学力定着状況調査	無	有	おおいた子ども・子育て応援プラン	R2~R6	90.7 %		体育保健課	秋吉	5635
(2)青・壮・高年期における食育の推進	朝食を毎日食べる生徒の割合(高校2年生)	%	88.6	90.6	89.6	98.7	B	90.8	91.4	92.0		②たべる	R3年度1ポイント増加、以後毎年0.6ポイント増加	各年	学習習慣等実態調査	無	無	なし				高校教育課	沢田	5608
(3)生涯を通じた食育の推進	おおいた食育人材バンクによる食育活動参加者数	人	2,538 (R1年度)	2,822	2,042	72.0	D	2,838	2,938	3,000	派遣回数はR4年度66回、R5年度74回と回数は増加しているものの1回当たりの参加者数が減少した。	①えらぶ ②つくる ③たべる	年間約100人増加	各年	食品・生活衛生課調べ	無	無	なし				食品・生活衛生課	安藤	3058
2 魅力あふれる"地域の食"づくり(地域での取組)																								
(1)地産地消の推進	学校給食での地場産物の活用率	%	75.6 (R1年度)	74.8	72.1	95.4	B	75.6	75.6	75.6		①えらぶ ②つくる ③たべる	食料の不作や気候等の影響を受けやすく高止まりであると考え、今後は、これまでの取組を下回ることはないよう、現状維持に努める。	各年	学校給食食材生産地調査	無	無	なし				体育保健課	秋吉	5635
	とよの食彩愛用店新規登録店舗数(累計)	店舗	5	9	12	85.7	C	14	17	20	R5.11に要領を改訂し、全登録店舗に再登録を依頼中。(再登録は実績値にカウントしていない)	①えらぶ ②つくる ③たべる	各年度3店舗新規登録を増加(3店舗×5年=15店舗)	累計	地域農業振興課調べ	無	無	なし				地域農業振興課	千葉	3582
(2)食文化の継承と発展	学校給食において、月に1回「食育の日」等を決めて、地場産物や郷土料理を活用し、食育に取り組む学校の割合	%	84.2 (R1年度)	96.1	98.1	112.5	A	87.2	88.2	89.2		①えらぶ ②つくる ③たべる	年間1%増加	各年	学校における食育の取組に関する調査	無	無	なし				体育保健課	秋吉	5635
(3)健康を支える社会環境の整備	食の健康応援団のうち「うま塩メニュー」を提供する店舗数	店舗	150 (R1年度)	275	447	235.3	A	190	200	200		①えらぶ ②つくる ③たべる	年間10店舗増でR6に200店舗…R7は200店舗キープ	累計	健康増進室調べ	無	無	なし				健康増進室	下田	2795
3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)																								
(1)農林漁業者等による体験活動の推進	生産者団体による農林水産業の体験活動実施回数	回	22	49	42	105.0	A	40	40	40		①えらぶ ②つくる ③たべる	農業、畜産、水産、椎茸の各団体の実施数 4団体×10回=40回	各年	地域農業振興課、畜産振興課、漁業管理課、林産振興室調べ	無	無	なし				地域農業振興課	千葉	3582
(2)環境に配慮した食生活の推進	食品ロス削減について学習した人数	人	244	499	669	167.3	A	400	450	500		①えらぶ ②つくる ③たべる	年間約50人増加	各年	循環社会推進課調べ	無	無	大分県食品ロス削減推進計画	R3~R7	500 人		循環社会推進課	宇野	3126
(3)環境と調和のとれた農林水産業の推進	GAP指導経営体数(R5年度以降) ※GAP認証農家数(R4年度まで)	戸	214 (R1年度) ※旧指標	233 ※旧指標	202	112.2	A	180	180	180	第6次大分県食品安全行動計画にあわせ指標を変更	①えらぶ ②つくる ③たべる	R5よりGAP指導員による指導数(経営体)を成果指標として設定。 平均30経営体×6振興局	累計	日本GAP協会及びGlobalG.A.P.ホームページ	有	7,363 (R1)	第6次大分県食品安全行動計画	R5~R9	180 戸		地域農業振興課	廣田	3663